



## 2020年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月7日

上場会社名 ガンホー・オンライン・エンターテイメント 株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3765 URL <https://www.gungho.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 森下 一喜  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO財務経理 本部長 (氏名) 坂井 一也 (TEL) 03-6895-1650  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年12月期第2四半期の連結業績(2020年1月1日~2020年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	42,189	△28.1	12,345	△39.6	12,480	△39.2	7,981	△40.2
2019年12月期第2四半期	58,677	37.4	20,439	67.1	20,520	67.7	13,338	75.5

(注) 包括利益 2020年12月期第2四半期 8,253百万円(△40.9%) 2019年12月期第2四半期 13,956百万円(81.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第2四半期	116.38	115.86
2019年12月期第2四半期	187.93	187.16

(注) 2019年7月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。これに伴い、2019年12月期の期首に株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第2四半期	108,549	94,404	80.7
2019年12月期	105,008	90,765	80.9

(参考) 自己資本 2020年12月期第2四半期 87,652百万円 2019年12月期 84,912百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2020年12月期	—	0.00	—	—	—
2020年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

- 2019年7月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。これに伴い、2019年12月期の1株当たり期末配当金については、当該株式併合を考慮した金額を記載しております。
- 2020年8月7日開催の取締役会において、当第2四半期末の配当金を無配とすることを決議いたしました。なお、当期末配当額につきましては未定であります。

## 3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日~2020年12月31日)

当社グループは、コンテンツ関連の新規性の高い事業を展開しており、短期的な事業環境の変化が激しいことなどから、業績の見通しにつきましては適正かつ合理的な数値の算出が困難であるため、四半期ごとに実施する決算業績及び事業の概況のタイムリーな開示に努め、通期の連結業績予想については開示しない方針です。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年12月期 2 Q	95,210,316株	2019年12月期	95,210,316株
② 期末自己株式数	2020年12月期 2 Q	27,334,463株	2019年12月期	25,529,818株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年12月期 2 Q	68,575,932株	2019年12月期 2 Q	70,972,293株

(注) 2019年7月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。これに伴い、2019年12月期の期首に株式併合が行われたと仮定し、期中平均株式数を算出しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で使用した資料については、開催後当社ホームページで掲載する予定です。
- ・2020年8月7日(金)・・・・・・機関投資家・アナリスト向け決算説明会

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書（第2四半期連結累計期間）	5
四半期連結包括利益計算書（第2四半期連結累計期間）	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7
(重要な後発事象)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

日本におけるゲーム市場は、モバイルゲーム市場の緩やかな拡大と家庭用ゲームソフトの好調な販売に支えられ、2019年の国内ゲーム市場は前年比3.8%増加の1兆7,330億円<sup>\*1</sup>となりました。一方、世界におけるゲーム市場も引き続き成長を続け、スマートフォンの普及拡大に加え、家庭用ゲーム市場やPCオンラインゲーム市場も成長を続け、2019年の世界ゲームコンテンツ市場は前年比19.1%増加の15兆6,898億円<sup>\*1</sup>となりましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、世界経済の悪化が懸念されており、先行きが不透明な状況にあります。

このような状況の中、当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、主にスマートフォン向けゲーム「パズル&ドラゴンズ」（以下「パズドラ」）及び「Ragnarok M: Eternal Love」の売上高が前年同期比で減収となりましたが、当社では引き続き「新規価値の創造」に向けグローバル配信を見据えたゲーム開発に注力すると共に、「既存価値の最大化」を図るため各ゲームのMAU（Monthly Active User：月に1回以上ゲームにログインしている利用者）の維持・拡大やゲームブランドの強化に取り組んでまいりました。

既存ゲームにつきましては、「パズドラ」は引き続き長期的にお楽しみいただくことを主眼に、新ダンジョン等の追加やゲーム内容の改善、他社有名キャラクターとのコラボレーションなど、継続的にアップデート及びイベントを実施してまいりました。また、ゴールデンウィークの特別イベントやコラボレーションイベントが好評だったことから、「パズドラ」のMAUは堅調に推移いたしました。「ラグナロク マスターズ」は、サービス開始から1周年を迎え、周年記念イベントの開催により、MAUは引き続き安定的に推移しております。

新規ゲームにつきましては、Nintendo Switch<sup>TM</sup>向け対戦ニンジャガムアクションゲーム「ニンジャラ」のサービスを、2020年6月25日<sup>\*2</sup>に北米・欧州・アジア・日本へと世界同時に開始いたしました。2020年7月13日には、世界累計300万ダウンロードを突破しております。

子会社の事業につきましては、GRAVITY Co., Ltd. 及びその連結子会社が配信している「Ragnarok M: Eternal Love」が継続的なアップデート及びイベントの開催により引き続き安定的に推移しております。また、GRAVITY Co., Ltd. は2020年7月7日から韓国にてスマートフォン向けゲーム「Ragnarok ORIGIN」のサービスを開始いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は42,189百万円（前年同期比28.1%減）、営業利益12,345百万円（前年同期比39.6%減）、経常利益12,480百万円（前年同期比39.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益7,981百万円（前年同期比40.2%減）となりました。

なお、当社グループは単一セグメントであるため、セグメント情報に関連付けて記載しておりません。

※1 ファミ通ゲーム白書2020

※2 日本標準時

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間における資産合計は、108,549百万円（前連結会計年度末比3,541百万円増加）となりました。これは主に、売掛金が増加したことによります。

負債合計は、14,145百万円（前連結会計年度末比97百万円減少）となりました。これは主に、未払法人税等が減少したことによります。

純資産合計は、94,404百万円（前連結会計年度末比3,638百万円増加）となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い利益剰余金が増加したことによります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、コンテンツ関連の新規性の高い事業を展開しており、短期的な事業環境の変化が激しいことなどから、業績の見通しにつきましては適正かつ合理的な数値の算出が困難であるため、四半期ごとに実施する決算業績及び事業の概況のタイムリーな開示に努め、通期の連結業績予想については開示しない方針です。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対応のため、当社グループでは各国の外出規制等の要請に従い、在宅勤務等を実施したことから、新規タイトルの開発及び一部の既存タイトルの運営が平時と比較して滞ったことや、各種イベントの中止等により広告宣伝施策への影響はあったものの、現時点では当連結会計年度の業績への影響は限定的であり、今後の動向を引き続き注視すると共に、情報収集と臨機応変な対応を継続して行っております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	86,225	84,955
売掛金	6,775	10,068
有価証券	282	331
商品	3	2
仕掛品	43	88
その他	1,525	1,928
貸倒引当金	△16	△52
流動資産合計	94,840	97,322
固定資産		
有形固定資産合計	746	806
無形固定資産		
ソフトウェア	265	2,882
ソフトウェア仮勘定	3,287	1,607
その他	124	137
無形固定資産合計	3,678	4,627
投資その他の資産		
投資有価証券	72	71
繰延税金資産	2,669	2,601
その他	3,000	3,119
投資その他の資産合計	5,742	5,792
固定資産合計	10,168	11,226
資産合計	105,008	108,549

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	3,303	3,598
1年内返済予定の長期借入金	125	218
未払法人税等	4,086	3,538
賞与引当金	8	9
その他	5,803	5,705
流動負債合計	13,327	13,070
固定負債		
長期借入金	148	264
その他	766	810
固定負債合計	914	1,074
負債合計	14,242	14,145
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,338	5,338
資本剰余金	5,487	5,487
利益剰余金	159,046	164,933
自己株式	△84,678	△87,613
株主資本合計	85,194	88,145
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△282	△493
その他の包括利益累計額合計	△282	△493
新株予約権	862	925
非支配株主持分	4,991	5,826
純資産合計	90,765	94,404
負債純資産合計	105,008	108,549

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
売上高	58,677	42,189
売上原価	27,905	18,698
売上総利益	30,771	23,491
販売費及び一般管理費	10,331	11,146
営業利益	20,439	12,345
営業外収益		
受取利息	81	58
為替差益	2	—
雇用調整助成金	—	75
その他	27	50
営業外収益合計	111	184
営業外費用		
支払利息	14	10
自己株式取得費用	13	7
為替差損	—	26
その他	2	4
営業外費用合計	30	48
経常利益	20,520	12,480
特別損失		
減損損失	41	54
特別損失合計	41	54
税金等調整前四半期純利益	20,478	12,425
法人税、住民税及び事業税	5,870	3,755
法人税等調整額	233	28
法人税等合計	6,104	3,784
四半期純利益	14,374	8,641
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,036	660
親会社株主に帰属する四半期純利益	13,338	7,981

四半期連結包括利益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	14,374	8,641
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△418	△388
その他の包括利益合計	△418	△388
四半期包括利益	13,956	8,253
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,128	7,770
非支配株主に係る四半期包括利益	827	482



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。